

製品名: BUILD.一貫V 項目1: 計算方法, 出力結果 項目2: 床, 荷重関係

タイトル:「BUILD.一貫V」と「BUILD.一貫IV+」の結果で「地震力用建物重量」の積載と床荷重が異なる

Q.

「BUILD.一貫V」と「BUILD.一貫IV+」の計算結果を同一物件で比較した時に、「地震力用建物重量」の出力において、各階の積載と床荷重が異なっていました。原因は何でしょうか？

A.

代表スラブ(許容応力度計算データの[ALD4])に関する処理が以下のように変更されたためです。

建物の外周部のスラブの荷重を拾う際、「BUILD.一貫IV+」では、外周梁に代表スラブが取り付けられているものとして計算しますが、「BUILD.一貫V」では、配置した床から外周梁に取り付くスラブを認識して計算します。よって、積載と床荷重に差が生じます。

なお、「BUILD.一貫V」で代表スラブを用いる範囲については、以下を参照して下さい。

【「BUILD.一貫V」ユーザーズマニュアル(ヘルプ)Vol.3 許容応力度計算データの[ALD4]の説明抜粋】

- ここで定義された各階の代表スラブは、以下の計算に用いられます。

建物の外周部のスラブの荷重を拾う際、梁の左右にスラブが取り付けられない場合は、この代表スラブが外周梁に取り付いているものとし、外周部の出の長さは、梁の寄り寸法(建物データの[PLM6])の入力が無い場合は、両側の梁幅の1/2の値とします(下図参照)。

